

6コース

プライマリーコース
ハンズオンセミナー 定員:20名

11月17日(日) 明日から実践、歯周病治療 見直そう、歯周外科処置!

時間 10:00~16:00

会場 大阪歯科大学 天満橋学舎 ~ 基本から応用まで、

対象 歯科医師

研修費 歯科医師(会員)30,000円、歯科医師(会員5年未満)20,000円
歯科医師(会費未納者、他大学)40,000円
※(実習材料費10,000円を含む)

驚くほど歯周治療が
面白くなるエッセンスを伝授~



大川 敏生

大川歯科医院 院長

特定非営利活動法人日本歯周病学会専門医
特定非営利活動法人日本臨床歯周病学会認定医
特定非営利活動法人日本顎咬合学会認定医
公益社団法人日本口腔インプラント学会会員
AAP(American Academy of Periodontology)会員
OJ(Osseointegration Study Club of Japan)会員
JSCO(JIADS STUDY CLUB OSAKA)会員

[略歴]

1998年 大阪歯科大学卒業
1999年 医療法人 おくだ歯科医院 勤務 奥田裕司先生 師事
2012年 大川歯科医院 開設
JIADS ベリオ・インプラントアドバンスコース 常任講師

[近著]

・『驚くほど臨床がわかる!こだわりベリオサブノート』
クインテッセンス出版株式会社 2018年11月発行 共著
・『歯周外科を見直そう!』(ザ・クインテッセンス)
クインテッセンス出版株式会社 2016年2月号,4月号,6月号 連載
・『イラストで学ぶ歯周組織再生療法 再生の3原則を踏まえた対応の実践』
(ザ・クインテッセンス)
クインテッセンス出版株式会社 2015年9月号
・『成功する歯周再生療法 一歯を保存するために』
ChapterIV 1.基本テクニックと器具 2.症例から学ぶ術式の実践
医歯薬出版株式会社 歯界展望 別冊 2012年11月発行 共著

「歯周外科処置」という言葉を聞いて、自分には縁遠いことだとお考えの先生も少なくないのではないだろうか。しかし、日本では、2016年の歯科疾患実態調査で35歳以上の8割が歯周病と報告されており、現在の歯の喪失原因の第一位である。広く国民の健康を考えれば、その状況に向き合い、知識・技術の習得は欠かせない。

歯周病患者の口腔内は様々な病態を呈し、その対応は困難をきわめる。しかしながら、どのような病態であれゴールは同じであり、天然歯保存とその永続性を目指すべきである。歯周病治療においては、まず、非外科処置により深いポケットの改善を試みるが、それだけでは対応できないケースがあり、歯周外科処置を避けては通れない状況に遭遇する。ゆえに、その適応と効用を理解し使用することで、目指すべき歯周状態を獲得できると考える。

また、歯周組織に対する外科的アプローチは、歯周病治療だけにとどまらず、歯肉縁下カリエスへの対応や歯頸ラインの不揃いに対する審美面の改善など、非炎症性疾患に対する手技としても有効である。修復物の長期安定や患者の高い要求に対応できる治療オプションとして持ち合わせておくべき時代であると実感する。

そこで本コースでは、歯周病治療におけるコンセプトや目指すべき治療のゴール、さらに治療オプションの選択とその詳細を解説し、歯周病治療に必要な知識を整理したい。また、ハンズオンでは、豚の下顎骨を用い、歯周外科処置の基本である「切開」「剝離」「縫合」など軟組織のマネージメントから、「骨外科処置」に代表される硬組織への対処など基本的なテクニックを中心に、理解を深めたいと考える。